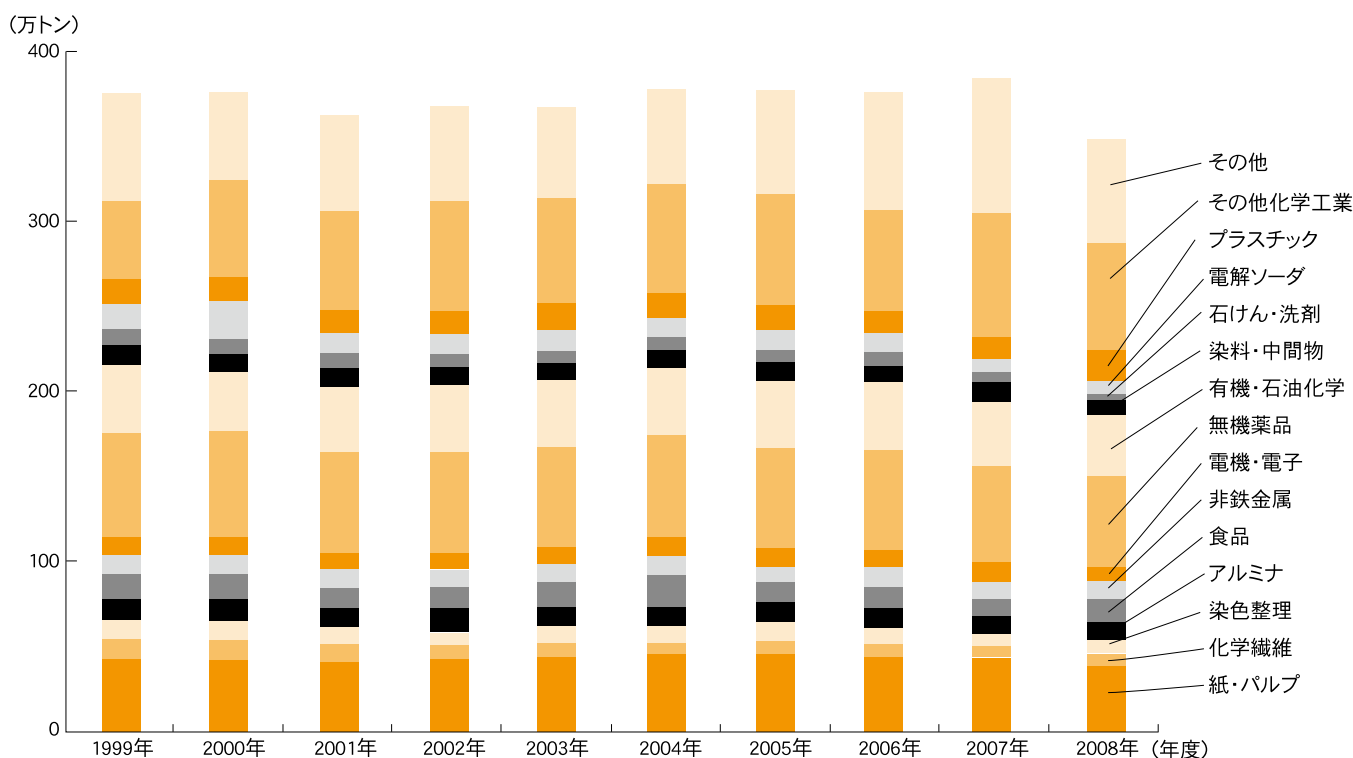


カセイソーダの内需推移



注) グラフの「その他」には、下の表の「医薬・農薬」「鉄鋼」「上下水道」が含まれる。

(単位：千トン)

用途部門	年度	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
紙・パルプ		432	429	407	414	437	443	434	428	401	368
化学繊維		118	118	104	88	84	78	75	78	79	68
染色整理		113	112	98	92	94	94	101	100	92	75
アルミナ		116	127	110	118	116	117	112	105	101	97
食品		135	135	129	139	143	163	159	154	148	133
非鉄金属		118	119	104	105	107	112	103	109	121	116
電機・電子		101	108	98	97	100	103	101	107	110	95
医薬・農薬		49	51	46	82	81	82	82	72	42	65
鉄鋼		50	51	45	46	50	47	49	55	53	49
上下水道		78	78	73	63	64	61	63	64	60	57
無機薬品		622	639	594	593	592	604	579	557	552	539
有機・石油化学		409	417	386	388	393	418	399	420	401	349
染料・中間物		114	110	108	103	98	104	99	97	99	89
石けん・洗剤		94	88	79	71	69	69	70	69	71	64
電解ソーダ		134	124	123	120	126	99	101	99	89	72
プラスチック		171	164	155	160	155	153	160	161	167	150
その他化学工業		537	563	583	636	621	678	668	693	754	641
その他		378	350	372	370	367	366	432	418	509	438
合計		3,769	3,783	3,614	3,685	3,697	3,791	3,787	3,786	3,849	3,465

注) 需要内訳は、輸入を含まない出荷実績による。

カセイソーダは、基礎素材製品であるため、さまざまな分野で使用され、需要の裾野が非常に広いことが特徴の一つです。このことが、カセイソーダの需給状況が国内の景気に強く影響される理由です。

この10年間の推移を見ると、2008年度の落ち込みが

際だっています。

2008年度は、一部を除いて、ほとんどの項目で減少しましたが、特に、主力の有機・石油化学、その他化学工業、「その他」は二桁減となり、紙・パルプも大幅な減少で、全体で10%の減少となっています。